

令和 8 年 10 月 6 日（火）10:00

生涯学習課 担当者 倉田 電話 076-225-1836 内線 5603

令和 8 年度石川県優良公民館表彰について

1 趣 旨

県内の公民館のうち、特に事業内容・方法等に工夫を凝らし、地域住民の学習活動に大きく貢献しているものを優良公民館として石川県教育委員会が表彰し、今後の公民館活動の充実・振興に資する。

（参考）昭和 22 年度に創設 令和 7 年度までに延べ 381 館を表彰

2 令和 8 年度被表彰公民館

金沢市味噌蔵町公民館
金沢市二塚公民館
白山市立千代野コミュニティセンター
津幡町津幡公民館
穴水町立兜公民館
能登町立鵜川公民館
能登町立柳田公民館

（詳細は別紙参照）

3 表彰式

（１）日 時 令和 8 年 10 月 8 日（木）13:00～13:50
（第 78 回石川県公民館大会）

（２）場 所 津幡町文化会館「シグナス」
（河北郡津幡町北中条 3 丁目 1 番地 TEL. 076-288-8526）

公民館名	館長名	所在地	受賞歴（※）
みそぐらちょう 金沢市味噌蔵町公民館 開館日数（R7）262日 職員 館長（非常勤） その他職員（専任）	塩谷 真一郎	〒920-0931 金沢市兼六元町7-19 電話 076-221-2573	2回目 （昭和46年）
	○史跡や文化施設に恵まれた地域に位置しており、地域の特徴を活かした学習機会の充実に取り組んでいる。成人教養講座である「土曜講座」や「けんろく講座」では、参加者アンケートを活用して事業内容の改善を図りながら、地域の歴史や文学、芸術、生活に密着した課題など様々な学習に触れる機会を提供している。住民の学習活動の促進や地域コミュニティの形成に寄与している。		
ふたつか 金沢市二塚公民館 開館日数（R7）240日 職員 館長（非常勤） その他職員（専任）	西川 茂治	〒920-0367 金沢市北塚町西98番地 電話 076-249-3474	2回目 （昭和47年）
	○「二塚ジョンカラ教室」では、小中学生が三味線や横笛を学び、地域の伝統芸能の担い手育成に取り組んでいる。保存会が中心となり、住民が指導や運営に関わることで、公民館文化祭や二塚夏祭り、学校行事など演舞披露する機会が広がっており、伝統芸能を継承する仕組みづくりが進んでいる。地域の伝統文化を共有することで住民同士のつながりが深まり、地域連帯意識を向上する取組となっている。		
ちよの 白山市立千代野 コミュニティセンター 開館日数（R7）356日 職員 館長（専任） その他職員（専任）	宮本 伸一	〒924-0072 白山市千代野西8-20 電話 076-276-2204	3回目 （昭和57年 平成12年）
	○住み続けたいくなる町を目指し、町内会連合会において策定した「千代野将来ビジョン」を若い世代の定住促進につながるように改定した。地区の魅力として千代野中央公園を会場にした「ペットフェスタ」を開催し、専門学校との連携により、ペットの健康チェックやドッグマッサージなどを行い、地区内外から多くの来場者があった。住民が主体的に地域の課題解決や町づくりに取り組んでいる。		
つばた 津幡町津幡公民館 開館日数（R7）346日 職員 館長（非常勤） その他職員（専任・非常勤）	加藤 大学	〒929-0326 河北郡津幡町清水リ123-3 電話 076-289-2266	2回目 （昭和28年）
	○地域の防災力向上を目指し、防災食作りや段ボールベッド作り、消火体験など自分事として楽しみながら学べる体験型の「津幡地区防災フェスタ」を実施した。公民館になじみのない若い世代の参加を促すとともに、公民館と連携し、地域の防災士が主体となって取り組んだことにより、災害時に助け合える「顔の見える関係づくり」につながった。様々な世代が集い、地域の活力を育む活動となっている。		
かぶと 穴水町立兜公民館 開館日数（R7）309日 職員 館長（非常勤） その他の職員（専任）	濱中 勲	〒927-0211 鳳珠郡穴水町字甲レ155 電話 0768-58-1301	1回目
	○災害時や復興期において、住民がつながり支え合えるように、「かぶと納涼祭」や「兜文化交流の集い」を実施した。納涼祭には多くの住民や帰省者が盆踊りなどを楽しみ、交流する場となった。住民が運営に主体的に携っており、事業後に反省会を行い、地域イベントをより円滑に運営する仕組みづくりを進めている。震災を乗り越え地域を活性化し、コミュニティの絆を深めている。		
うかわ 能登町立鶴川公民館 開館日数（R7）276日 職員 館長（非常勤） その他職員（非常勤）	牧 宜伸	〒927-0302 鳳珠郡能登町字鶴川18-128 電話 0768-67-1919	2回目 （昭和27年）
	○世代間交流を目的として、「地域再発見ふるさと交流事業」では、地域の祭りや昔の町並みの写真を活用し、震災前後の地図を作成した。また、地域の歴史や文化をまとめた冊子を刊行した。地域の文化や歴史、地理を共有・継承する機会を創出し、地域への愛着や連帯意識の醸成につながった。震災後の住民の活力を高め、地域の教育力と絆の強化に貢献している。		
やなぎだ 能登町立柳田公民館 開館日数（R7）249日 職員 館長（非常勤） その他職員（非常勤）	大庭 毅	〒928-0331 鳳珠郡能登町字柳田仁部54番地 電話 0768-76-0313	2回目 （昭和29年）
	○震災後の集いと交流の場を創出するため、音楽イベント「復興フェスタin柳田」を実施した。住民が中心となって企画運営し、地域の音楽グループも出演したり、出店コーナーでは地域の商品が並んだり、地域の魅力発信にもつながった。公民館活動に関わりの少ない若い世代や高校生も運営に参画したことで、多世代の交流と地域コミュニティの活性化に寄与している。		